

2011 年度日本農業経済学会理事会の議事概要

- 開催日時：2012 年 3 月 28 日（水）18:00～19:25
- 開催場所：九州大学箱崎キャンパス創立五十周年記念講堂大会議室
- 出席者：29 名
- 欠席者：11 名（うち委任状 6 名）

1. 理事会開催要件の確認

- ・ 理事会を開催するには現在理事（40 名）の過半数（21 名以上）の出席が必要となる（注）。本理事会の出席理事は 29 名、委任状は 6 名であり、理事会開催要件を満たしている。

注：「日本農業経済学会会則」第 9 条（理事会）

理事全員によって理事会を構成し、本会の事業・運営に関する事項を審議・決定する。

理事会は年 1 回以上開催し、会長が招集する。

理事会は現在理事の過半数の出席がなければ会議を開き、議決することができない。

理事会は常務理事若干名を互選し、庶務、会計、編集等の事務を担当させる。

会務処理のため、理事会の下に幹事若干名を置くことができる。幹事は会長が指名する。

2. 報告事項

（1）大会企画関係（2012 年度学会大会〔九州大学〕のプログラムについて）

- ・ 企画担当副会長より、2012 年度学会大会（3/29～/30）のプログラム（大会シンポジウム、日韓シンポジウム、ミニシンポジウム、特別セッション、個別口頭報告、個別ポスター報告）について説明があった。

（2）国際交流関係

- ・ 国際交流担当副会長より、韓国農業経済学会（2010 年 6 月）の日韓セッション、同学会の国際シンポジウム（2011 年 6 月）、日本農業経済学会大会（本大会）での日韓シンポジウムについて報告があった。合わせてアジア農業経済学会ハノイ大会（2011 年 10 月）、国際農業経済学会（2012 年 8 月）について報告された。
- ・ 同担当副会長より、国際農業経済学会日本支部の解散に伴い、同支部が保有してきた基金（JB 基金）を日本農業経済学会が継承し、同基金を若手研究者の渡航費用等の援助にあてることについて報告があった。

（3）大会実行委員関係

- ・ 企画担当常務理事より、大会準備状況や会場配置図、大会実行予算の執行見通しについて説明があった。

（4）学会賞・国内学術交流関係

- ・ 学会賞・国内学術交流担当副会長より、2011 年度の学術賞応募は、募集期間を延長したものの、エントリーがなかったことが報告された。
- ・ 同担当副会長より、生源寺眞一会員が業績論文「現代日本農業に関する経済分析と政策研究」によって平成 24 年度日本農学賞を受賞し、受賞者講演会（計 7 名）と祝賀会が

4月5日に東京大学山上会館で開催されると報告があった。また、松田裕子会員が「EU直接支払と農地の特質に関する経済分析」で平成23年度日本農学進歩賞を受賞したことが報告された。

- ・ 編集担当副会長より、3/9に開催した2011年度学会誌賞選考委員会（対象論文は和文誌第82巻第4号～第83巻第3号、英文誌Vol.13）を踏まえ、学会誌賞対象論文として草苺仁会員・中川聡司氏「不完全競争市場における米作農家の借地行動－取引費用と不確実性の影響分析－」を推薦すると報告があり、了承された。

(5) 学会誌関係

- ・ 編集担当副会長より、和文誌の編集状況について報告があり、農業経済研究別冊（学会論文集）は昨年12月に刊行（採択率66%）、農業経済研究は第84巻第1号（2012年6月刊行）が編集完了であると報告があり、また合わせて新規の投稿論文の状況について報告があった。
- ・ 和文誌および学会論文集の次期編集委員（新規・継続）について報告があり、了承された。
- ・ 英文誌担当常務理事より、2011年度の英文誌（JJRE）Vol.13の刊行を予定していると報告があった。また、JJREの次期編集体制については編集委員長のみ内諾（正式には次期会長の指名理事の手続きが必要）を得ているが、そのほかの委員については調整中であるため、後日、持ち回り理事会（新体制下の理事会）に諮ることが了承された。
- ・ 同担当常務理事より、学会論文集所収の英語論文をJJREに収録することの検討結果が報告された。学会論文集に和文・英文が混在している現状は好ましくないことから、今大会総会での報告、次期体制での検討ならびアナウンスを行ったうえで、2013年度学会大会の報告論文からJJREに英語論文を一本化すること（2014年3月版から新編集方針での刊行）について報告があり、了承された。

(6) 会計関係

- ・ 財務担当常務理事より、3/9に2011年度決算等に対する会計監査を実施し、監査承認を受けたことが報告された。

(7) 庶務・情報関係

- ・ 庶務担当常務理事より、学会会員の動向ならびに入退会者の名簿についての説明があり、了承された。また合わせて2012年度は学会名簿の更新作業を行うと報告された。

(8) その他

- ・ 庶務担当常務理事より、2012年2月22日（水）～3月2日（金）に持ち回りで関東地区理事会を開催し、庶務担当理事の選出順番ならびに、次期（2012～13年度）・次々期（2014～15年度）の庶務担当常務理事の担当校が決定したと報告があった。

3. 協議事項

(1) 決算・予算案について

- ・ 財務担当常務理事より2011年度決算について説明があった。収入の部では学会誌（和文誌）の収入減、科研費補助金の減額、早稲田大会延期大会の参加者減による大会要旨集売り上げの減少がある一方で、支出の部では早稲田大会延期大会に伴う諸経費の増加、

貸倒損失計上（学会論文集掲載料未納金の処理）があり、2011年度収支は当初予算収支よりも赤字幅が拡大したことが報告され、承認された。

- ・ 同担当常務理事より 2012年度予算について説明があった。収入の部では会費収入および学会誌（和文誌）売上の減少、2012年8月に開催予定のIAAE（国際農業経済学会）の対応に伴う交際交流費の繰り入れがあり、支出については名簿作成費の発生、国際交流費の増額、大会関係費の減額等の措置の結果、予算収支は赤字計上となることが報告された。ただし、資産に余裕があるため、当面は一般会計で処理可能であることが合わせて説明され、2012年度予算について承認された。
- ・ 以上の2011年度決算および2012年度予算を学会総会に諮ることを確認。

（2）次期理事および監事の推薦について

- ・ 庶務担当常務理事より、次期理事および監事の名簿について説明があり、承認された。本名簿を学会総会に諮ることを確認。

（3）名誉会員の推薦手続きの変更ならびに名誉会員の推薦について

- ・ 庶務担当常務理事より、「役員業務等に関する細則」における名誉会員の推薦手続きについての変更案の説明があり、承認された。また、合わせて名誉会員の推薦名簿（2名）の説明があり、承認された。本名簿を学会総会に諮ることを確認。

（4）2013年度大会・2014年度大会について

- ・ 企画担当副会長より、2013年度大会および2014年度大会の開催校（いずれも内諾済）について報告があり、承認された。2013年度大会開催校については学会総会に諮ることを確認。

（5）総会次第および総会資料について

- ・ 庶務担当常務理事より 2012年度学会総会の議題について説明があり、承認された。

（6）その他

- ・ 会員名簿の電子化に伴う作業や費用見積もりについて、庶務担当常務理事より説明があった。2年後の学会名簿更新時には電子名簿が活用できるよう、次期体制で電子化に伴う費用や作業をさらに検討するよう申し送ることを承認。
- ・ 庶務担当常務理事より、学会誌のアーカイブ化（J-STAGE）について説明があり、次期体制で情報化委員会（仮称）を立ち上げ、E-journal化と合わせ検討するよう申し送ることを承認。

以上。